



基調講演



辻 琢也 一橋大学副学長

1962年北海道生まれ。東京大学大学院博士号取得。専門は行政学・地方自治論。東京大学助手等を経て、2005年より一橋大学大学院法学研究科教授。また、2014年より一橋大学副学長。このほか、「第31次地方制度調査会」委員、国土交通省「社会資本整備審議会」委員、総務省「定住自立圏構想の推進に関する懇談会」委員、総務省「公立大学の力を活かした地域活性化研究会」座長、総務省「地方公務員の給与制度の総合的な見直しに関する検討会」座長等を務める。

分科会

第1分科会 地方への新しいひとの流れをつくる(地域おこし協力隊)



コーディネーター **平井 太郎** 弘前大学大学院 地域社会研究科准教授
1976年神奈川県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科修了、博士(学術)、2012年より現職。社会学(環境をめぐる合意形成)を専門とする。2011年より集落支援員・地域おこし協力隊の全国研修会講師を務める。共著に『地域おこし協力隊』(学芸出版社)、『現代都市の社会学』(文化科学高等研究院)、『希望学 あしたの向こうに』(東京大学出版会)など。

事例発表者

- 鈴木 浩幸 山形県朝日町長
- 佐藤 恒平 山形県朝日町地域おこし協力隊OB (桃色ウサビ発案者)
- 多次 勝昭 兵庫県朝来市長
- 大久保 太一 茨城県常陸太田市市長

第2分科会 ひとをつなぎ、地域をつなぐ(都市と農山漁村の交流)



コーディネーター **藤山 浩** 島根県中山間地域研究センター 研究統括監
1959年島根県生まれ。一橋大学経済学部。1998年より全国初の島根県中山間地域研究センターに勤務。2009年島根県立大学連携大学院教授(兼務)。2013年より現職。博士(マネジメント)。内閣府まち・ひと・しごと創生本部「中山間地域ワーキング」有識者委員など。国・県委員多数。著書に「田園回帰1%戦略～地元の人と仕事を取り戻す」(2015年、農文協)など。

事例発表者

- 榎本 政規 山形県鶴岡市長
- 小林 好雄 株式会社出羽庄内地域デザイン代表取締役
- 外山 京太郎 群馬県川場村長
- 寺谷 誠一郎 鳥取県智頭町長

第3分科会 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る(地域運営組織)



コーディネーター **作野 広和** 島根大学教育学部教授
1968年島根県生まれ。広島大学大学院文学研究科博士課程単位取得退学、同大助手、島根大学准教授を経て、2014年より現職。専門は農業・農村地理学、過疎・中山間地域論、GIS。総務省「地域における生活支援サービス提供の調査研究事業研究会」座長(2014年度)、農林水産省鳥獣害対策アドバイザー、島根県中山間地域研究センター客員研究員等。

事例発表者

- 原田 俊二 山形県川西町長
- 高橋 由和 NPO法人きりよしみまネットワーク事務局長
- 速水 雄一 島根県雲南市長
- 加藤 憲一 神奈川県小田原市長

全体会総括 パネルディスカッション



総括コーディネーター **名和田 是彦** 法政大学法学部 教授
1955年下関市生まれ。東京大学、横浜市立大学、東京都立大学を経て、2005年より現職。1993年から95年まで、フンボルト財団給費留学生としてドイツ・プレーメンで彼の地の住民参加を研究。横浜市をフィールドにコミュニティ研究を行い、自ら地域活動に関わり、港南台タウンカフェを運営するまちづくりフォーラム港南の代表を務める。

パネリスト

- 平井 太郎 第1分科会 コーディネーター
- 藤山 浩 第2分科会 コーディネーター
- 作野 広和 第3分科会 コーディネーター
- 辻 琢也 基調講演者

分科会終了後、分科会での議論をふまえて、全体会総括にてパネルディスカッションを行います。



地域の元気創造



日程 平成27年
10月19日(月)・20日(火)

会場 山形テルサ(10月19日)
〒990-0828 山形市双葉町1-2-3
ホテルメトロポリタン山形(10月19日)
〒990-0039 山形市香澄町1-1-1
10月20日は現地視察

プログラム
10月19日
基調講演 辻 琢也(一橋大学副学長)
分科会 ① 地方への新しいひとの流れをつくる
② ひとをつなぎ、地域をつなぐ
③ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る
全体会総括 パネルディスカッション
市町村長交流会
10月20日
現地視察 コース① 山形県郷土館「文翔館」～慈恩寺
コース② 山形鉄道株式会社～旧時沢小学校

地域の元気創造 全国市町村長サミット in 山形

人口減少の到来、地域間格差の拡大、コミュニティの脆弱化など難しい課題に直面している中において、日本経済の再生に向けて、地域の活性化を図っていくことが求められています。このため、全国の市町村長等が一堂に会して議論・交流を行うことを通じて、地域活性化の一層の進展・普及を図ることを目的に、全国市町村長サミット2015 in 山形を開催いたします。開催にあたり、全国の市町村長の方々、自治体職員や市民の方々等の一般参加者を募集いたします。

10月19日(火) 13:00~17:10

12:00	受付	
13:00	全体会	総務省挨拶／開催地挨拶
13:10~14:00	基調講演	辻 琢也(一橋大学副学長)
14:10~16:00	分科会	3つのテーマの分科会に分かれ、各分科会のコーディネーターと発表される市町村長の方々に取組事例の発表と意見交換を行っていただきます。
	① 第1分科会	地方への新しいひとの流れをつくる(地域おこし協力隊) コーディネーター 平井 太郎(弘前大学大学院地域社会研究科准教授)
	② 第2分科会	ひとをつなぎ、地域をつなぐ(都市と農山漁村の交流) コーディネーター 藤山 浩(島根県中山間地域研究センター研究統括監)
	③ 第3分科会	時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る(地域運営組織) コーディネーター 作野 広和(島根大学教育学部教授)
16:10~17:10	全体会総括	パネルディスカッション 各分科会での議論を踏まえて、総括コーディネーター、分科会コーディネーターで議論・検討を行います。 総括コーディネーター 名和田 是彦(法政大学法学部教授)
17:25~18:35	市町村長交流会	市町村長等による意見交換、情報交換の場として交流会を実施します。(参加費4,000円)

10月20日(水) 現地視察

コース①

山形県郷土館「文翔館」～慈恩寺

- 8:30 JR山形駅発
- 8:45 山形県郷土館「文翔館」
- 10:30 慈恩寺
- 12:30 JR山形駅着

山形県郷土館「文翔館」(山形市)



大正5年に建てられた英国近世復興様式のレンガ造りの建物で、大正初期の洋風建築を代表する貴重な遺構として、昭和59年に国の重要文化財に指定

慈恩寺(寒河江市)



天平18(746)年に、聖武天皇の勅命により、インド僧に婆羅門よって開山されたと伝えられ、開山以来約1,300年、数々の文化財が残されており、国指定重要文化財も多数。平成26年度に「慈恩寺旧境内」が国史跡指定

山形鉄道株式会社(長井市(本社))



南陽市赤湯駅から白鷹町荒砥駅に至るローカル線フラワー長井線を運営する第三セクターの鉄道会社。うさぎの駅長「もっちい」、全国初「列車プロレス」など、誘客に向けたユニークな取組み多数

旧時沢小学校(高畠町)



高畠町の旧時沢小学校を拠点として、企業家の育成や交流、レンタルオフィス、山形大学工学部先端技術研究など廃校活用プロジェクトを展開。水谷豊主演のテレビドラマ「熱中時代」の舞台

コース②

山形鉄道株式会社～旧時沢小学校

- 8:30 JR山形駅発
- 9:45 山形鉄道株式会社
- 11:40 旧時沢小学校(熱中小プロジェクト)
- 12:40 JR赤湯駅着

参加ご希望の方は、希望される分科会の番号(左記参照)、交流会・現地視察参加の有無と希望コースを下記申込書に記入の上、ファクシミリにてお申し込みください。(申込多数の場合は、ご希望に添えない場合があります。)締切後、サミット開催日の1週間前を目途に、参加分科会等をお知らせする申込受付書をFAX送信します。

- 参加対象者 市町村長、自治体職員、地域づくり団体関係者の方々その他市民の方々等の一般参加者を募集いたします。
- 参加費 サミット：無料 市町村長交流会：4,000円

※ 交通・宿泊の手配については、各自でお願い致します。なお、近隣の宿泊施設の紹介を御希望の方は、下記申込窓口までお問い合わせ下さい。

お申し込みの流れ

- 参加申込書のFAX送信 **FAX : 03-5362-0124**
申込窓口業務委託業者：株式会社オーエムシー
- 申込受付書の発送 参加分科会の調整後、申込書記載の連絡先宛に参加分科会等をお知らせする申込受付書をFAX送信します。(9月下旬予定)
- 参加費用の振り込み 市町村長交流会に参加される方については、参加費用をご負担頂きます。支払い方法は上記②の申込書記載の口座への振込となります。(振込み費用はご負担ください)
- 当日来場・受付 参加証をお持ち下さい。

参加申込書

申込締切日：平成27年9月11日

連絡担当者名	ふりがな	連絡先住所	〒				-	
TEL		所属						
FAX		E-mail						
	氏名	職名	分科会(10/19)			交流会参加	現地視察(10/20)	
			第1希望	第2希望	第3希望		第1希望	第2希望
1	ふりがな							
2	ふりがな							
3	ふりがな							
4	ふりがな							
5	ふりがな							
記入例	ふりがな やまがた たろう 山形 太郎	〇〇市長	③	②	①	○	②	①
サミットの当日、参加していただいた市町村用のPRスペースを検討しております。PRスペース希望の有無を右欄にご記入下さい。(スペースの都合により、調整させていただく場合がありますので、ご了承下さい。)							PR希望	

申込等の個人情報については、本サミットに係る目的以外での利用はいたしません。

申込窓口

株式会社 オーエムシー 担当：林 〒160-0004 東京都新宿区四谷4-34-1 新宿御苑前アネックスビル
TEL 03-5362-0120 FAX 03-5362-0124